

リーディングDXスクール事業【実践事例】

札幌市立中央小学校（札幌市）

【取組内容③】「端末の日常的な持ち帰りによる家庭学習の充実」

くらべてみた①

1銭は1円より大きい



くらべてみた①



わたし



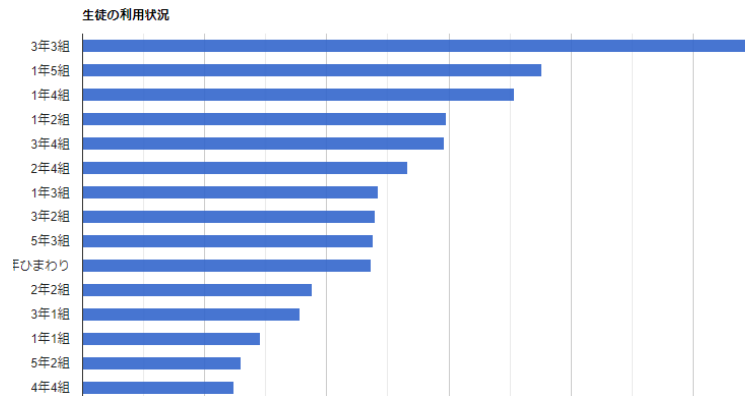

いもうと わたしのほうがせがたかいです。

くらべてみた①

クーピーのほうが、ながかった



児童数の増加に伴う、端末不足により8月から端末活用をスタートした1年生は、これまでの端末持ち帰りのノウハウを生かし、スムーズに持ち帰りに以降できるように取組を進めてきた。10月、11月で各家庭の実態調査、ネットワークテストを行い12月から持ち帰りによる家庭学習を始めていった。例えば、算数のおおきさくらべの学習では、家にあるものの大きさを比べ、写真等で提出する。学校でも家でもシームレスな学びになるよう課題設定を行った。冬休みは生活科「かぞくにこにこだいさくせん」を家庭学習の課題と設定した。端末操作に慣れない1年生児童が端末に慣れ親しむことができるように、家庭で毎日起動するようなワークシートとした。



冬季休業が大半を占める1月の学習ログは、1年生の活用が顕著になった。2月においても安定して伸びていることから、持ち帰りによる効果が表れてきていると考えられる。